

連系運転と自立運転について

通常時の使い方（連系運転）

通常、パワーコンディショナは連系運転で使用します。連系運転中、パワーコンディショナは自動的に、太陽電池が発電しだすと起動し、発電なくなると停止します。

日常において、下記の操作（「連系運転を開始する」 / 「運転を停止する」）は不要です。

連系運転を開始する

連系運転を開始していない場合は、下記にしたがって操作してください。

◆ 操作前の確認

パワーコンディショナの運転スイッチが「オフ」状態であることを確認してください。

- 運転スイッチの「オン」、「オフ」の状態は運転ランプで確認することができます（⇒ 9）。
- 「オン」状態になっている場合、運転スイッチを5秒以上押し続けてください。運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。

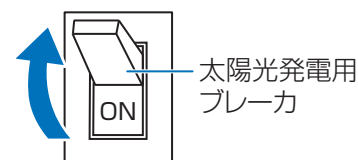
運転スイッチ「オフ」状態



運転ランプが1秒点灯、4秒消灯を繰り返す

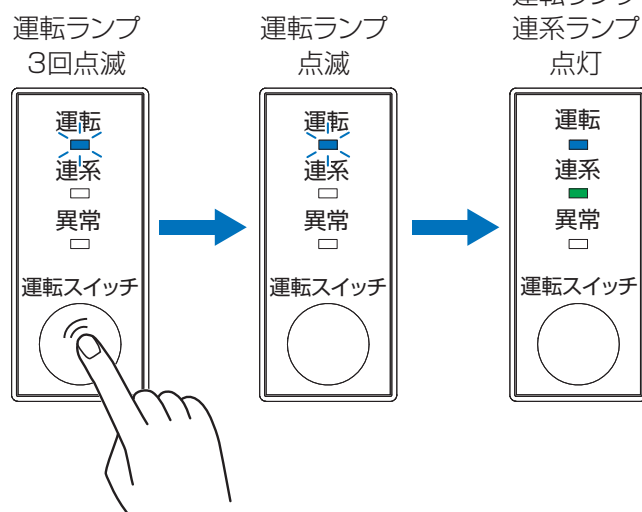
使い方

1 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オン」にする



2 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 連系運転を開始するまで、運転ランプが点滅します。
- 連系運転を開始すると、運転ランプと連系ランプが点灯します。



● 日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、パワーコンディショナは運転を停止し、停電が回復すると、自動的に連系運転を再開します。

● 停電の回復後、異常ランプがゆっくり点滅（2秒点灯、2秒消灯）を繰り返している場合は、運転スイッチの状態を確認（⇒ 9）したあと、以下の手順を行ってください。

（運転スイッチが「オフ」状態の場合）

1 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、連系運転を開始します。

（運転スイッチが「オン」状態の場合）

1 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。

2 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、連系運転を開始します。

運転を停止する

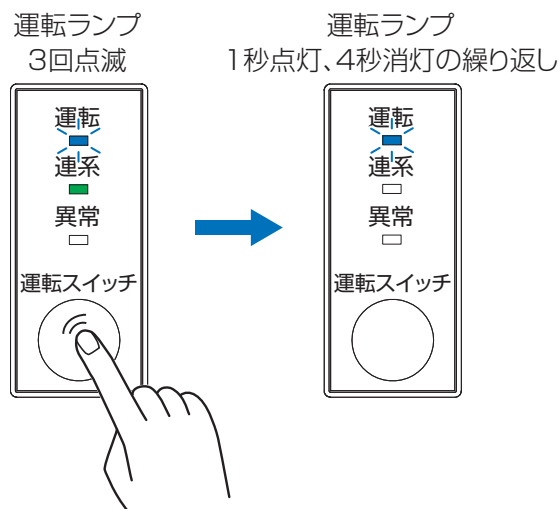
運転を停止する場合は、下記にしたがって操作してください。

1 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- パワーコンディショナが運転を停止します。

2 運転ランプが 1 秒点灯、4 秒消灯を繰り返していることを確認する

- 運転を停止すると、パワーコンディショナは停止状態を保つため、自動的に起動しません。



停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止したとき、システムを自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

停電時に、異常ランプが 5 秒間に 2 回点滅を繰り返している場合

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」になっています。自立運転で使用する場合は、下記の手順 1～3 を行ってください。



停電時に、運転ランプが点灯している場合

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」になっています。

- 自動的に自立運転に切り替わっています。
- お客様での設定変更はできません。自立運転切り替え方法の設定を変更（手動⇔自動）する場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

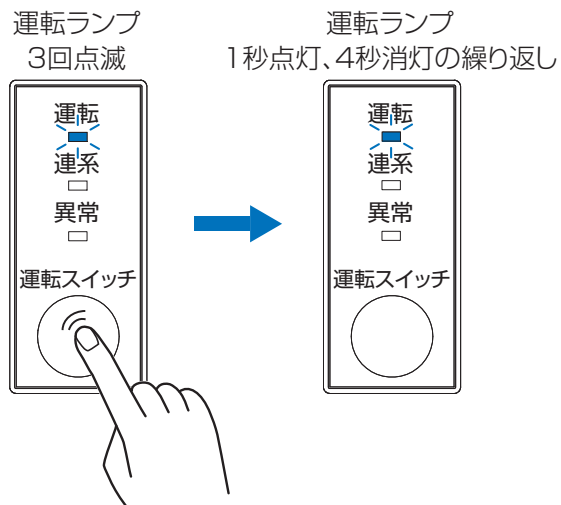


- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。
- 停電時に備えて、日頃から自立運転の動作確認を行ってください。（⇒ 14）

連系運転と自立運転について (つづき)

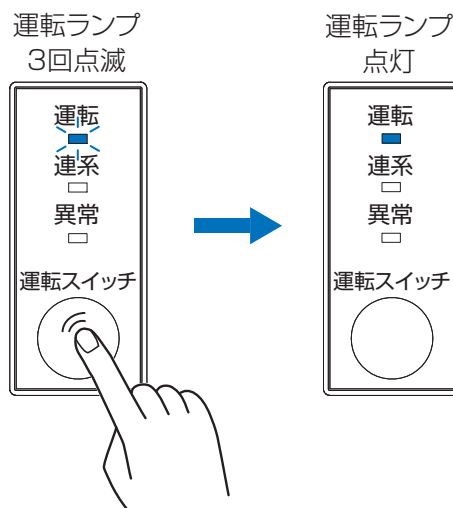
1 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが 1 秒点灯、4 秒消灯を繰り返します。



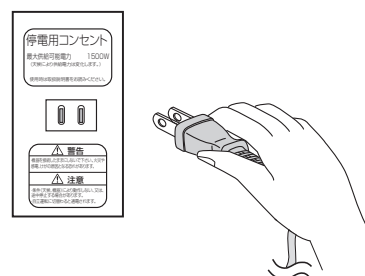
2 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチッカチッカと動作音がします。
- 自立運転を開始すると、運転ランプが点灯します。



3 停電用コンセントに使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。(⇒ 4)
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下(AC100V で最大 15A 以下) になるようにしてください。



- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを 5 秒以上押し続けて、運転スイッチを「オフ」状態にしてください。(⇒ 8) 再度、運転スイッチを 5 秒以上押し続けると、運転スイッチが「オン」状態になり、自立運転を再開します。

自立運転が停止したら

◆ 発電電力の低下や日の入りによって自立運転が停止した場合

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」(⇒ 11) になっている場合

太陽電池が発電を開始してから、下記手順を行って自立運転を再開させてください。
(異常ランプが5秒間に2回点滅を繰り返していたら、太陽電池は発電を開始しています)

- ① 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- ② 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」(⇒ 11) になっている場合

太陽電池が発電を開始すると、自動的に自立運転が再開されます。

◆ 保護機能が働いて自立運転が停止した場合

掃除機や冷蔵庫などの電流が急激に流れる機器を使用したり、故障した機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。

保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

- ① 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- ② 停電用コンセントに接続している機器を減らす、または故障した機器を停電用コンセントから外す
- ③ 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

復電時の操作（連系運転への切り替え）

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」(⇒ 11) になっている場合

復電後は、手動で連系運転に切り替える必要があります。下記の手順1～3を行ってください。

- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」(⇒ 11) になっている場合

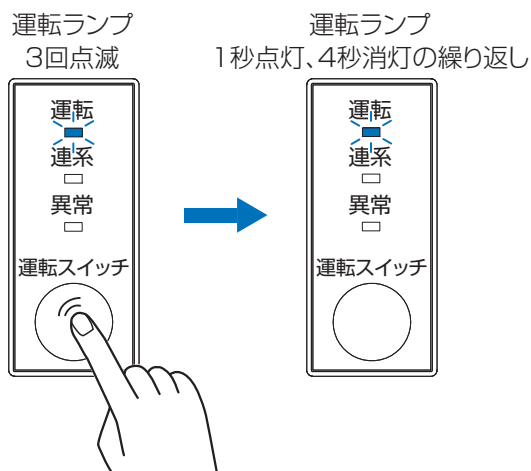
復電後は、最大5分程度で自動的に連系運転に切り替わります。下記の手順3のみ行ってください。

- 下記の手順3で運転ランプと連系ランプが点灯せず、異常ランプがゆっくり点滅（2秒点灯、2秒消灯）を繰り返している場合は、下記手順①、②を行って連系運転を開始してください。
 - ① 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
 - ② 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

連系運転と自立運転について（つづき）

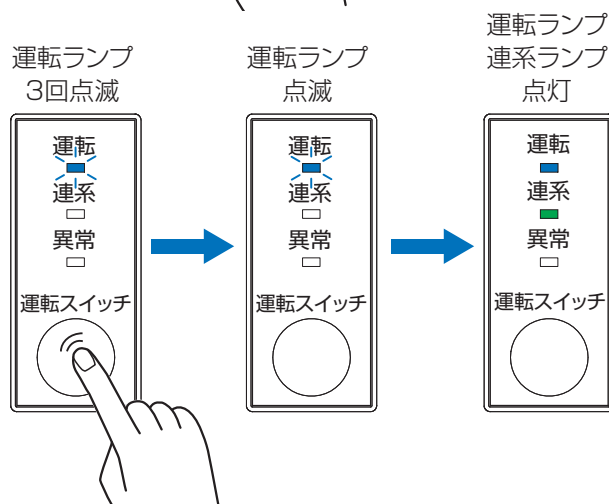
1 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが1秒点灯、4秒消灯を繰り返します。
- 自立運転が停止します。



2 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 連系運転を開始するまで、運転ランプが点滅します。



3 運転ランプと連系ランプが点灯し、連系運転が開始していることを確認する

使い方

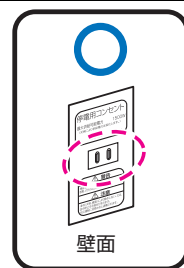
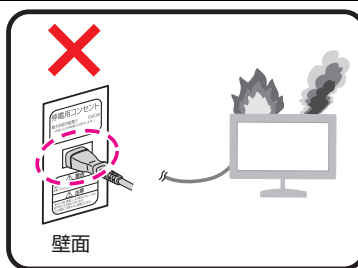
警告

感電、発煙、発火、火災、けが、機能障害のおそれあり



連系運転時には、停電用コンセントに電気機器を接続しない

発煙・発火・火災・感電・けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。

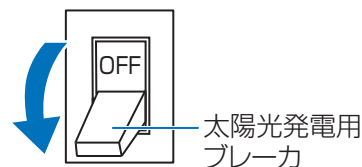


停電時に備えて

日頃から自立運転の動作確認を行ってください。（パワーコンディショナが連系運転している状態で行ってください）

太陽光発電用ブレーカ（⇒6）を「オフ」にすると、停電と同じ状態になります。次の確認をしてください。

- 主幹漏電ブレーカは「オフ」にしないでください。



1 自立運転切り替え方法の設定が「手動」と「自動」のどちらに設定されているか確認する

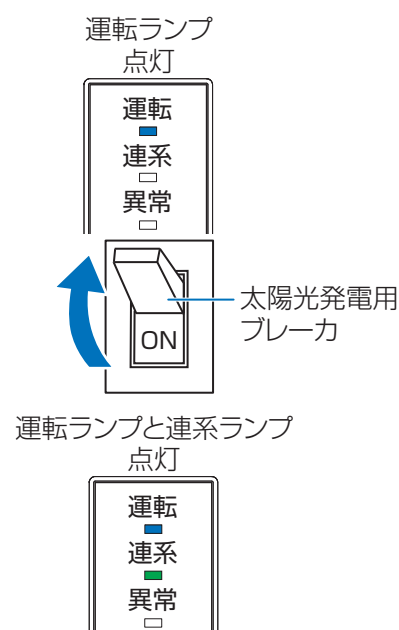
- 異常ランプが5秒間に、2回点滅を繰り返している場合、設定は「手動」です。運転ランプが点灯している場合、設定は「自動」です。

連系運転と自立運転について（つづき）

- 2 使用したい機器が使用できるか確認する（⇒ 下記）
 - 自立運転切り替え方法の設定により確認方法が異なります。
 - 確認後は通常の連系運転に戻してください。

自立運転切り替え方法の設定が「手動」の場合の確認方法

- 1 運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする
 - 運転スイッチの操作は「各部の名前と働き」（⇒ 8）をお読みください。
 - 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチッカチッカチッと動作音がします。
 - パワーコンディショナが自立運転を開始します。
- 2 運転ランプが点灯することを確認する
- 3 運転スイッチを「オフ」にする
 - 自立運転が停止します。
- 4 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オン」にする
- 5 運転スイッチを「オン」にする
 - 投入遅延時間経過後、パワーコンディショナが連系運転を開始します。
- 6 運転ランプと連系ランプが点灯することを確認する



使い方

自立運転切り替え方法の設定が「自動」の場合の確認方法

- 1 運転ランプが点灯することを確認する
- 2 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オン」にする
 - 投入遅延時間経過後、パワーコンディショナが連系運転を開始します。
- 3 運転ランプと連系ランプが点灯することを確認する

